



# 町長回誌 No.119

町長日誌の第119号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

9月24日(火) AM9:00

台風18号が各地に大きな爪痕を残して過ぎ去りましたが、あっという間に秋になってしまったような朝晩の冷え込みです。興部神社と沙留神社の例大祭が良い天候のなか行われ、14・15日には宇津・秋里・住吉・富丘の各八幡神社祭も行われました。あいにくの雨でしたが各地域それぞれ氏神様をお祭りして地域の親交を深めたようです。20日には、豊野八幡神社の祭礼が行われました。これで、8月1日北興愛宕神社祭に始まりました町内の祭礼がすべて終了したことになります。季節は秋本番となるのです。海では秋サケ漁が9月初旬から始まりました。初漁はまずまずでしたが、その後、若干漁模様が低調なようですので、これからが期待されます。農家では、不順な天候のなか大幅に遅れていました2番牧草の収穫作業も何とか終わることが出来、今は飼料用コーンの収穫作業の最盛期となっています。最近、飼料の自給率向上のためにコーンの作付が増えてきていますが、これを喜んでいるのが牛だけでなく「ヒグマ」です。熊は甘いコーンが大好物で、人から見えないようなところを選んで畑に座り込みコーンを食べます。熊は結構横着で、座りながら尻ずりしてコーンを次々食べるので畑の中に丸くコーンがなぎ倒され、まるでUFOが着陸したのでは？と言うような円形が出来ています。当然、町は猟友会にお願いしまして捕獲用檻を用意して何頭か捕獲していますが、農家の中には「熊が食べる分を余分に植えてあるから良いんだ！」と言われる人も居ます。自然との共存共栄はこれぐらいの気持ちが無ければ出来なんでしょうね。

9月1日(日)

朝10時から防災避難訓練を行いました。今年は津波を想定した訓練で「サイレンが鳴って20分で逃げる」ことをテーマとして実施しました。特に一人で避難できない、他人の助けがいる人(要援護者)に対しての自治会からの連絡訓練と、消防団が2次災害や災害後の火災や人の救助に必要な消防機材(消防自動車・ホース等)を避難させる訓練を新しい取り組みとして行いました。これは東日本大震災の時、消防団が住民に避難を呼びかけるために海沿いを走行して、ほとんどが津波の犠牲になりました。その為、津波の後の火災などに対応する機材が不足して被害が大きくなった教訓から、本町でも海拔の低いところに在ります第1分団(興部仲町)と第2分団(沙留)の団員に機材の避難をお願いしました。日曜日にも係わらず、大勢の皆様のご参加ご協力を頂きましたことに感謝を申し上げます。来年からも9月1日を固定して「避難訓練の日」として大雨洪水を想定して行います。

9月21日(土)~22日(日)

今年で2回目となりますSTVラジオ風土&フードフェスティバルと、20日から出店しています大通公園オータムフェスタに行ってきました。風土&フードでは、それぞれの町の産物を販売するだけでなく、それぞれの町の産物をコラボレーションした食品を販売したり、美幌・東藻琴・洞爺高校の生徒たちが授業の一環として生産物の販売実習も一緒に行ってくれました。他の町の産物の売れ方や商品の工夫を勉強する良い機会でもあります。今回初めて、沙留の水タコと当麻町の米を使った春巻き風のファーストフードも販売され好評でした。オータムの方も、大変な人出でした。どちらの会場でも興部の産物は良く売れていて、興部の産品の知名度と共に興部町の名前もとても知られて来たことが実感できました。これからは、この産品の生産拡大と新たな雇用が生まれる産業振興を進めなければならないと強く思いました。

お陰様で、国保病院の改築業者がこのほど決定し、間もなく工事が始まります。本体・電気設備・機械設備の3本の工事に分かれて実施しますが、本格的な工事は来年の雪解け以降となります。オープン予定が27年4月で、これから工事が始まり付近の通行上ご迷惑をお掛けするかもしれませんが宜しくお願いします。今日から、秋の交通安全運動が始まりました。今年に入って死亡事故はありませんが事故件数は増えています。秋は輸送繁忙期となり、日没も早いですから十分安全運転でお願いします。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL82・2131です。